



# アルゴリズムとデータ構造III

## 7回目: 11月13日

---

### グラフ

(動的計画法, ダイクストラ法, DPマッチング,  
A\*アルゴリズム)

授業資料 <http://ir.cs.yamanashi.ac.jp/~ysuzuki/algorithm3/index.html>

# 授業評価アンケート(中間期評価)



---

- 授業の最後に回収
- 授業科目番号: 263216
- 授業科目名: アルゴリズムとデータ構造Ⅲ

# 授業の予定(中間試験まで)

1	10/02	スタック(後置記法で書かれた式の計算)
2	10/09	チューリング機械, 文脈自由文法
3	10/16	構文解析 CYK法
4	10/23	構文解析 CYK法
5	10/30	構文解析(チャート法), グラフ(ダイクストラ法)
6	11/06	構文解析(チャート法), グラフ(ダイクストラ法, DPマッチング)
7	11/13	グラフ(DPマッチング, A*アルゴリズム)
8	11/20	グラフ(A*アルゴリズム), 前半のまとめ
9	11/27	中間試験

# 授業の予定(中間試験以降)

10	12/04	全文検索アルゴリズム (simple search, KMP)
11	12/11	全文検索アルゴリズム (BM, Aho-Corasick)
12	12/18	全文検索アルゴリズム (Aho-Corasick), データ圧縮
13	01/08	暗号 (黄金虫, 踊る人形) 符号化 (モールス信号, Zipfの法則, ハフマン符号) テキスト圧縮
14	01/15	テキスト圧縮 (zip), 音声圧縮 (ADPCM, MP3, CELP), 画像圧縮 (JPEG)
15	01/29	<b>期末試験</b>



# 本日のメニュー

---

- 動的計画法
- ダイクストラ法(復習)
  - 動作例
  - アルゴリズム
- DPマッチング
  - 動作例
  - アルゴリズム
- A\*アルゴリズム

# 動的計画法

## (Dynamic Programming)

---

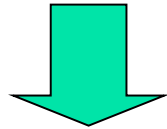
- 解くのに時間のかかる問題を、複数の部分問題に分割することで効率的に解くアルゴリズム



# ダイクストラ法

---

- 動的計画法を最短経路問題に適用



- 最適経路中の部分経路もまた最適経路になっている



# 身近な最短経路問題

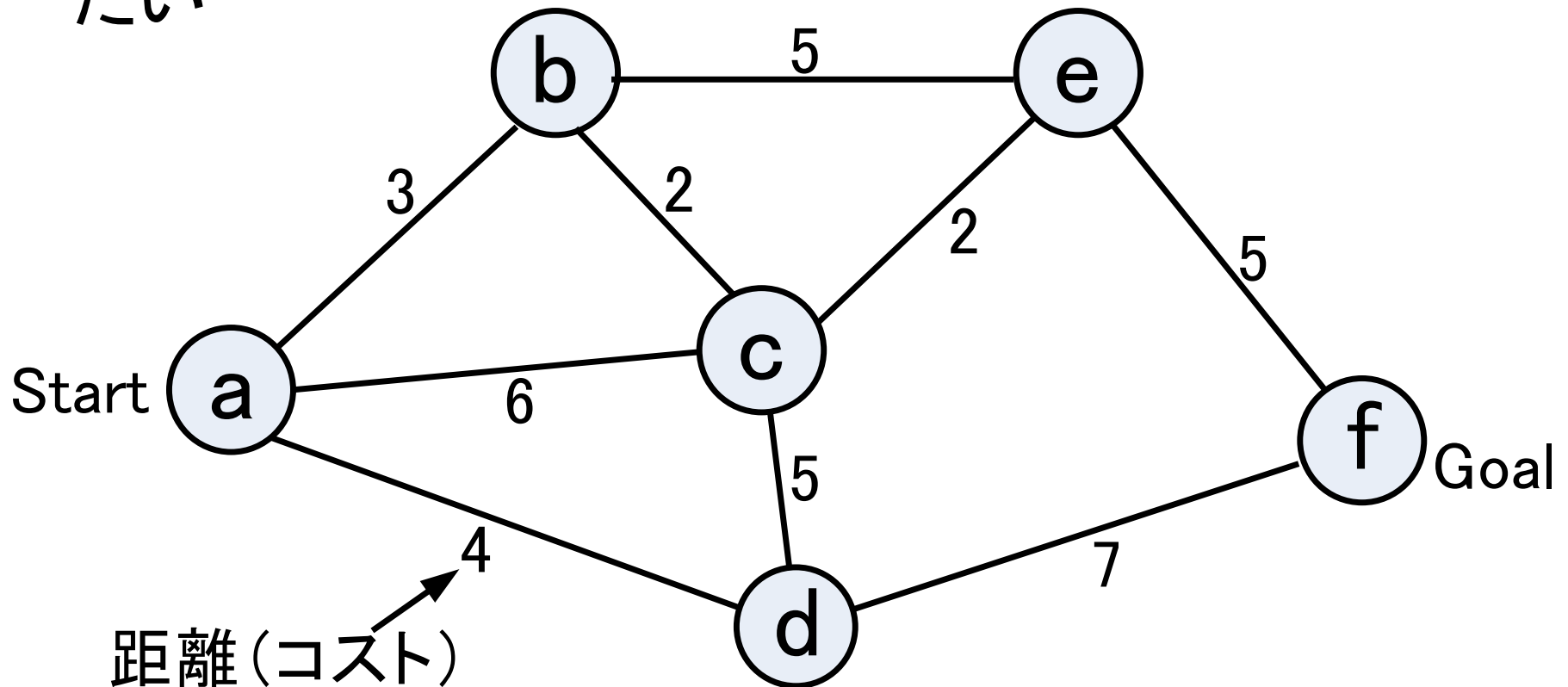
---

- 道路の経路探索(カーナビなど)



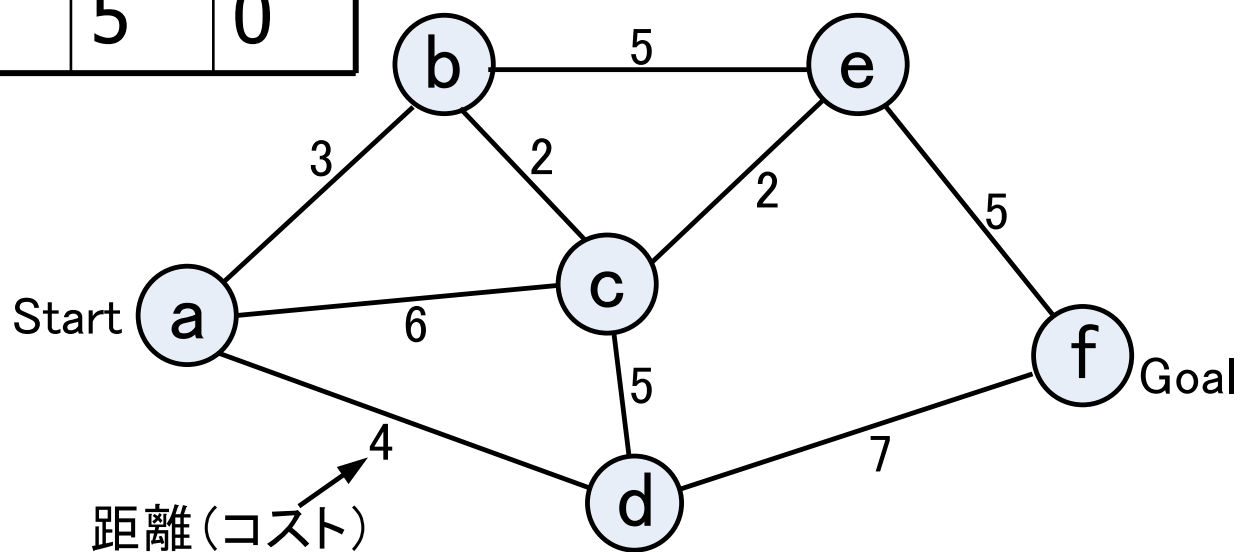
# ダイクストラ法 (最短経路問題用 アルゴリズム)

- StartノードからGoalノードへ最小コストで移動したい

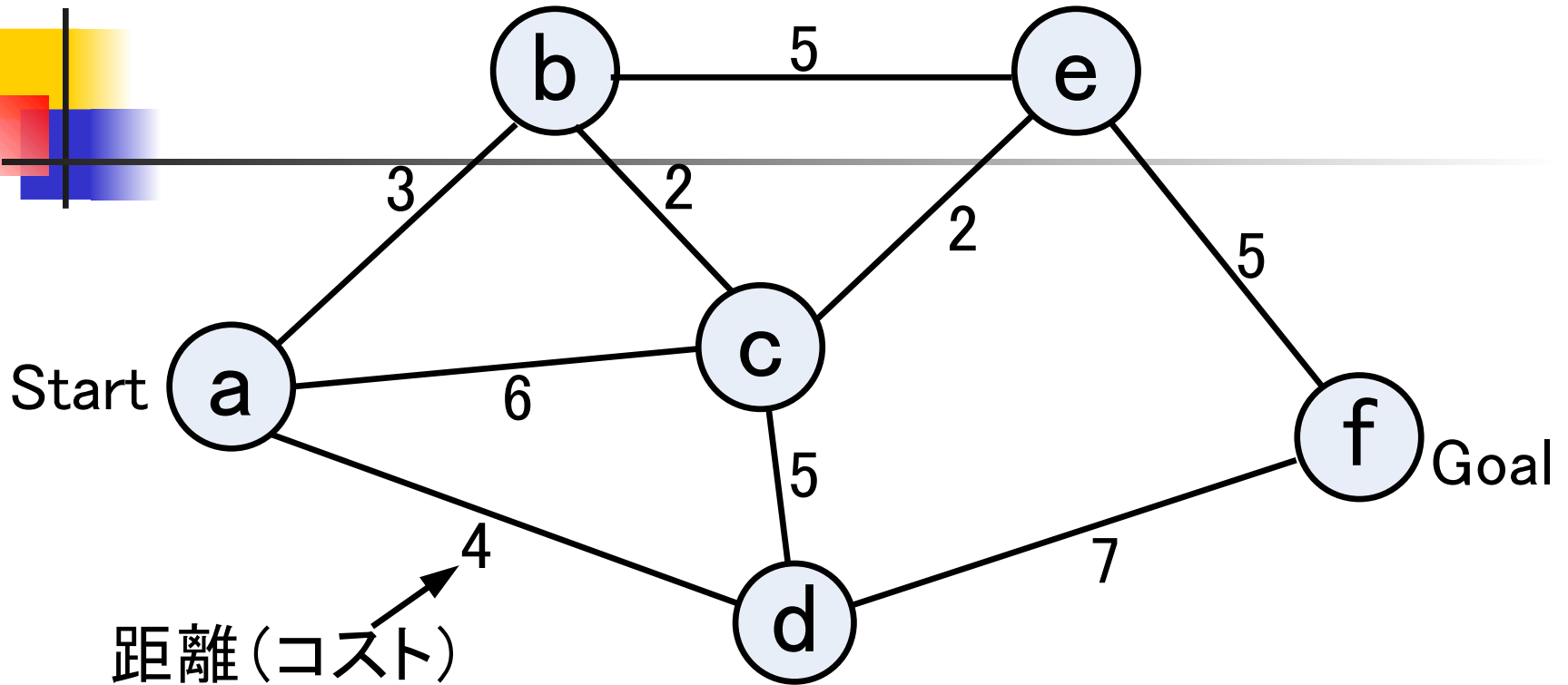


# 隣接行列 (コスト付き)

	a	b	c	d	e	f
a	0	3	6	4	-	-
b	3	0	2	-	5	-
c	6	2	0	5	2	-
d	4	-	5	0	-	7
e	-	5	2	-	0	5
f	-	-	-	7	5	0

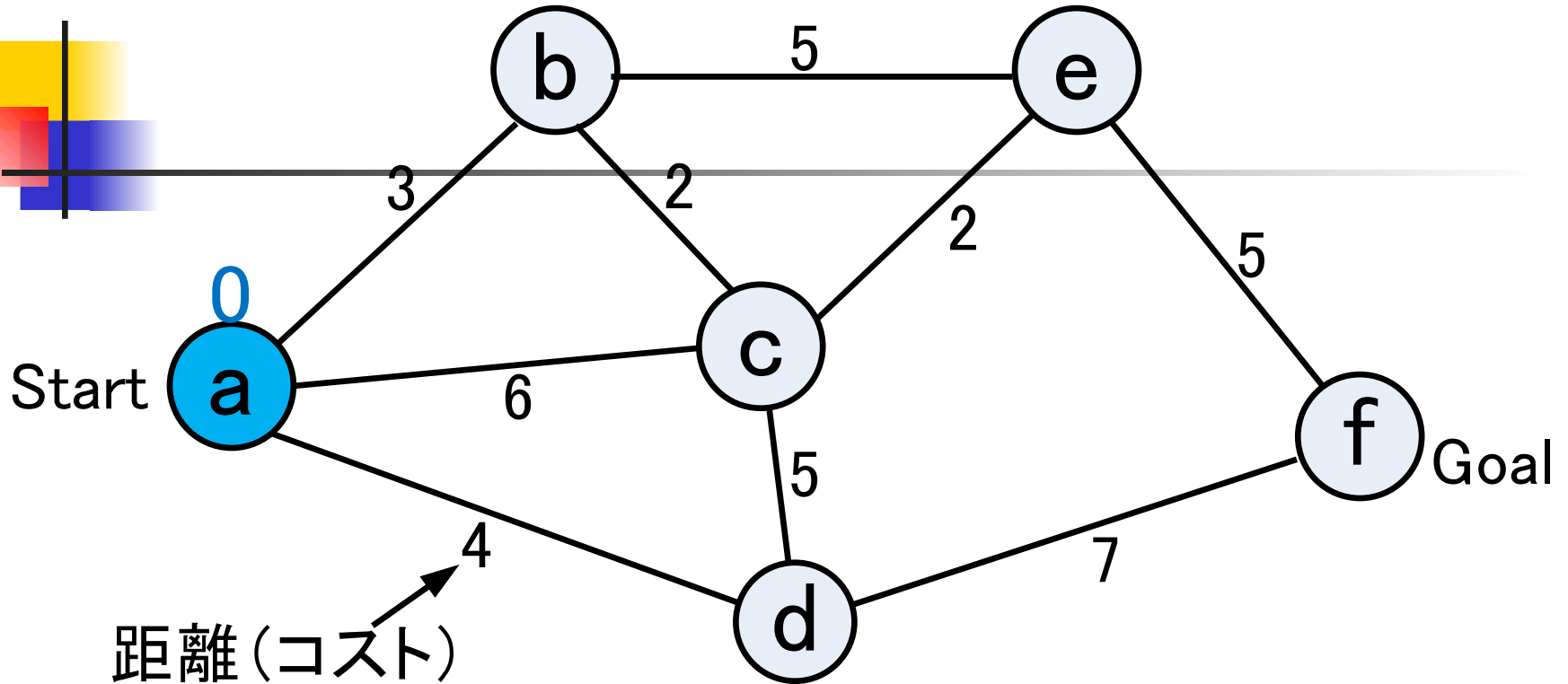


# ダイクストラ法 動作例 1/13



- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク
- 次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 2/13



○ Startからの最短経路が確定していないノード

● Startからの最短経路を確定中のノード

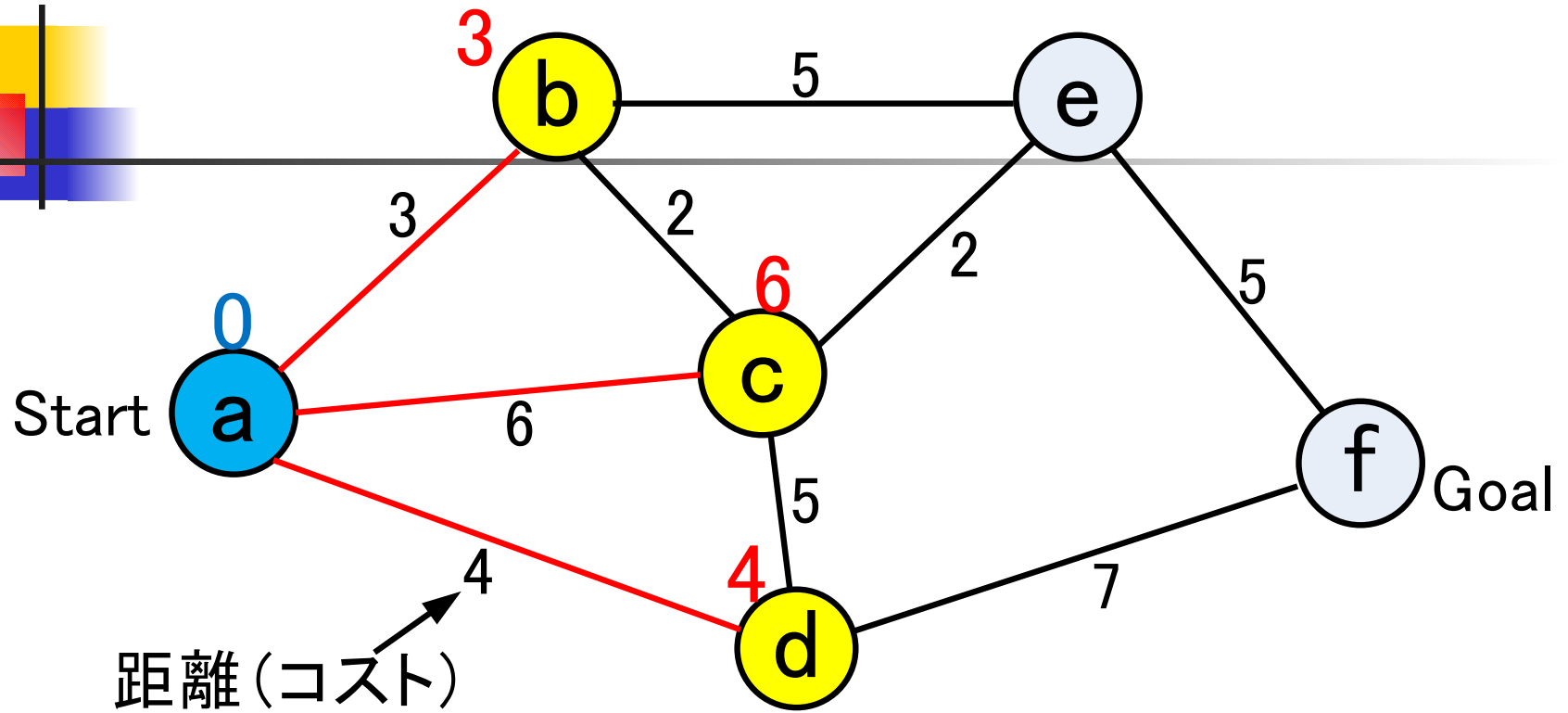
● Startからの最短経路が確定したノード

7 Startからの最短距離候補(未確定)

7 Startからの最短距離(確定済)

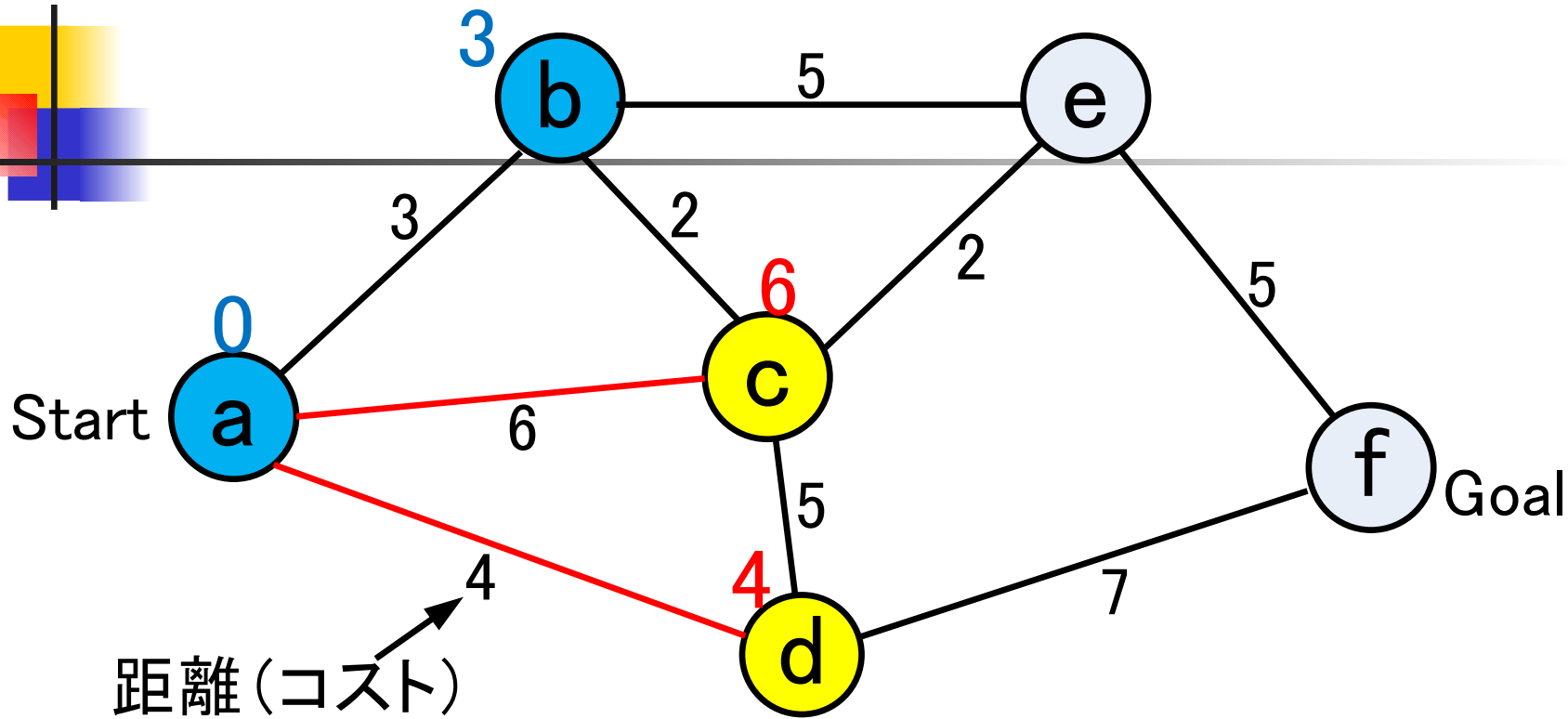
— 確定済ノードからのアーク  
次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 3/13



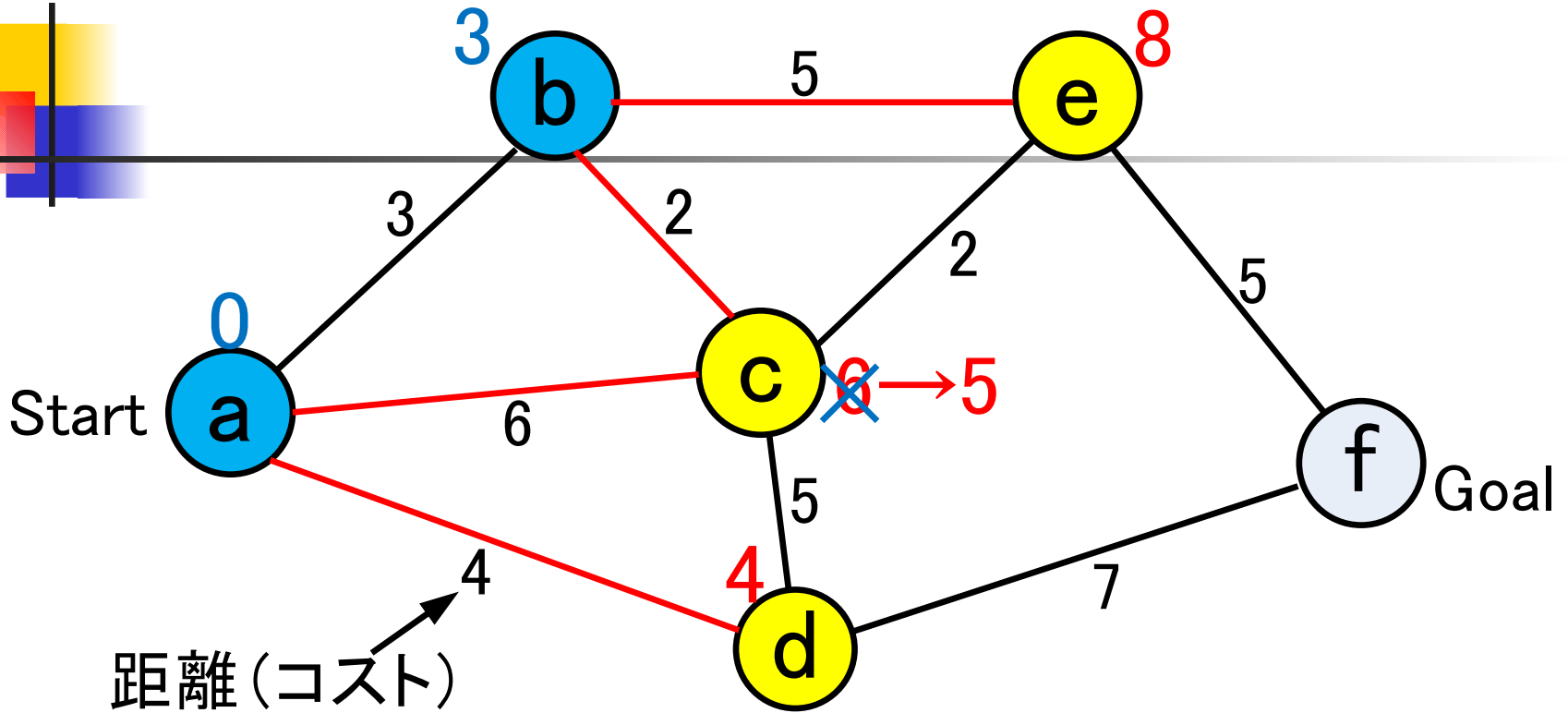
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補(未確定)
- 7 Startからの最短距離(確定済)
- 確定済ノードからのアーク
- 次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 4/13



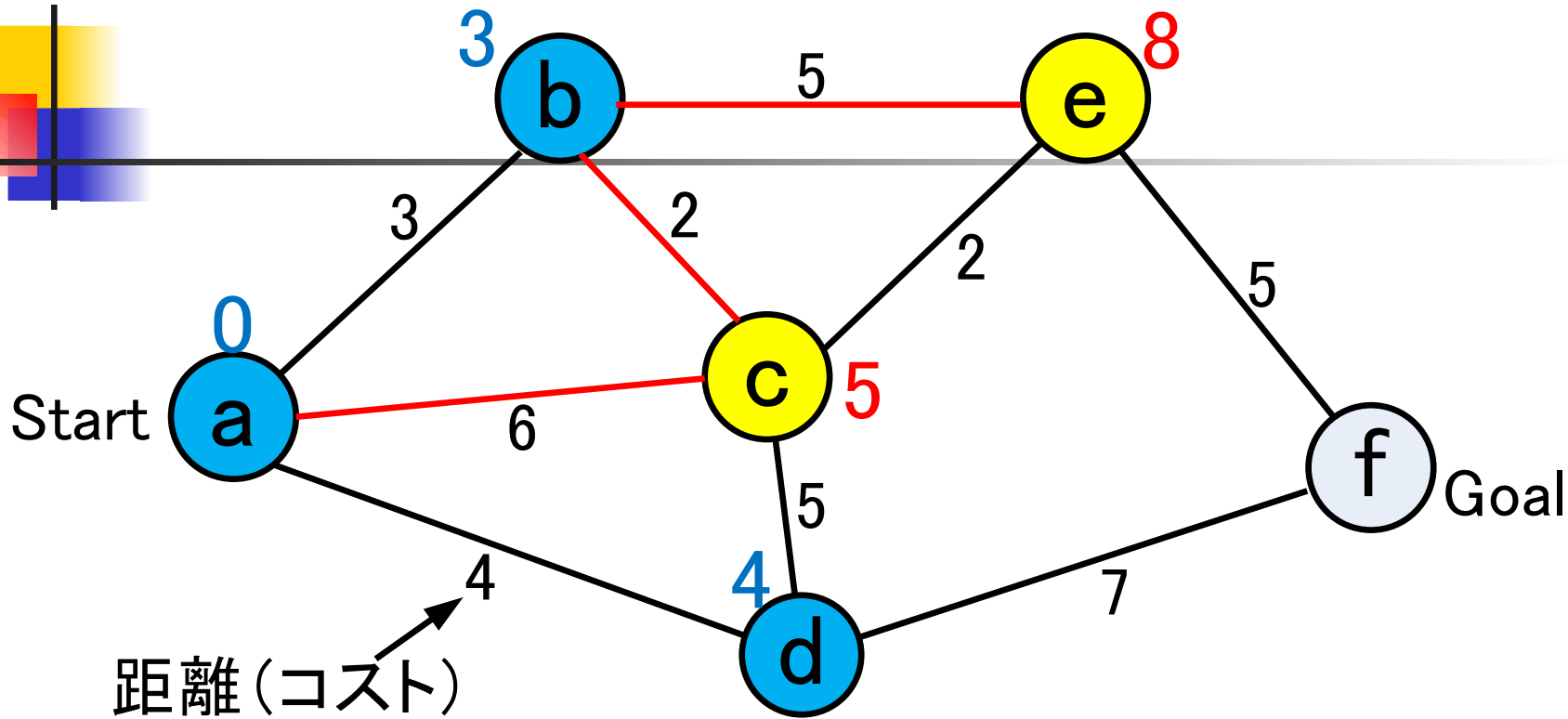
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク
- 次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 5/13



- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク
- 次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 6/13



○ Startからの最短経路が確定していないノード

● Startからの最短経路を確定中のノード

● Startからの最短経路が確定したノード

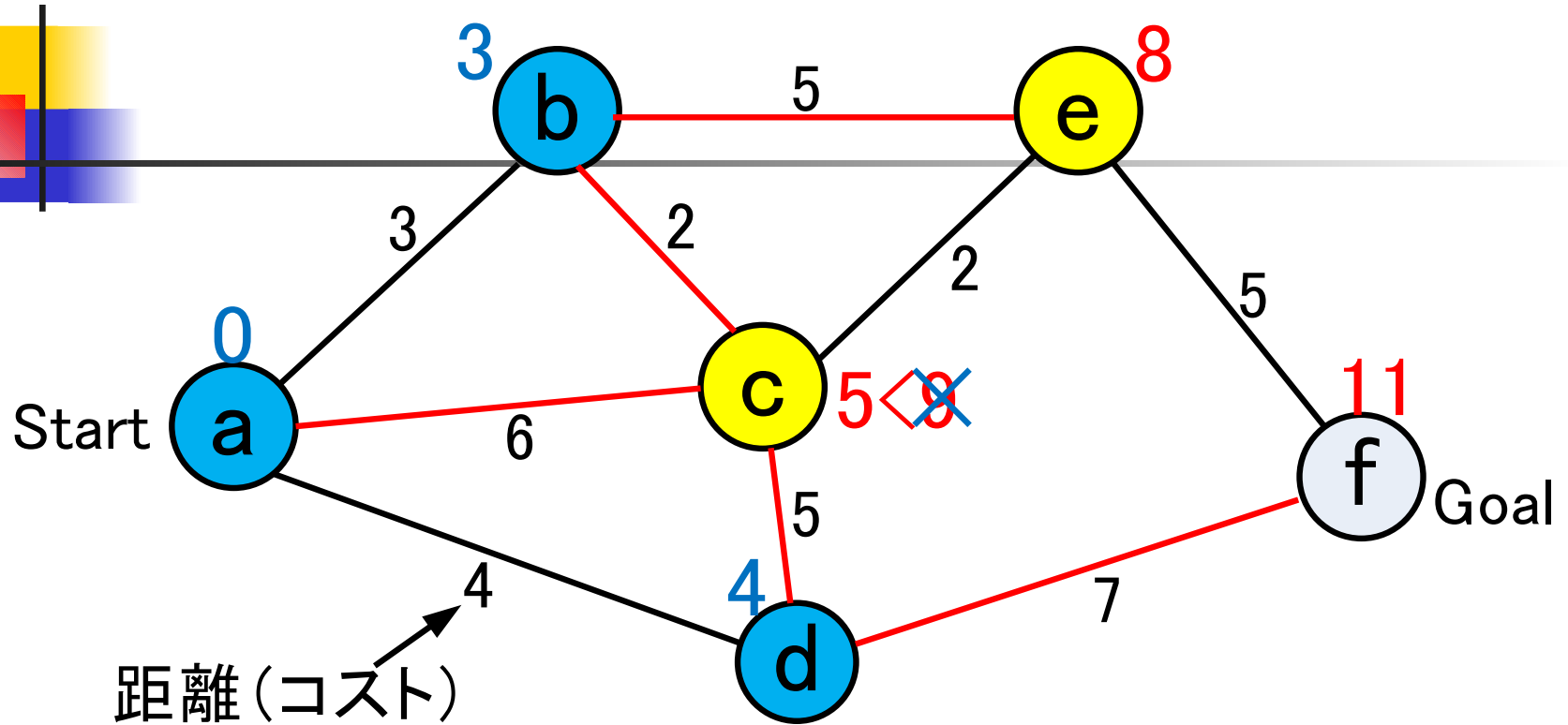
7 Startからの最短距離候補 (未確定)

7 Startからの最短距離 (確定済)

— 確定済ノードからのアーク  
次期確定ノード決定に使用

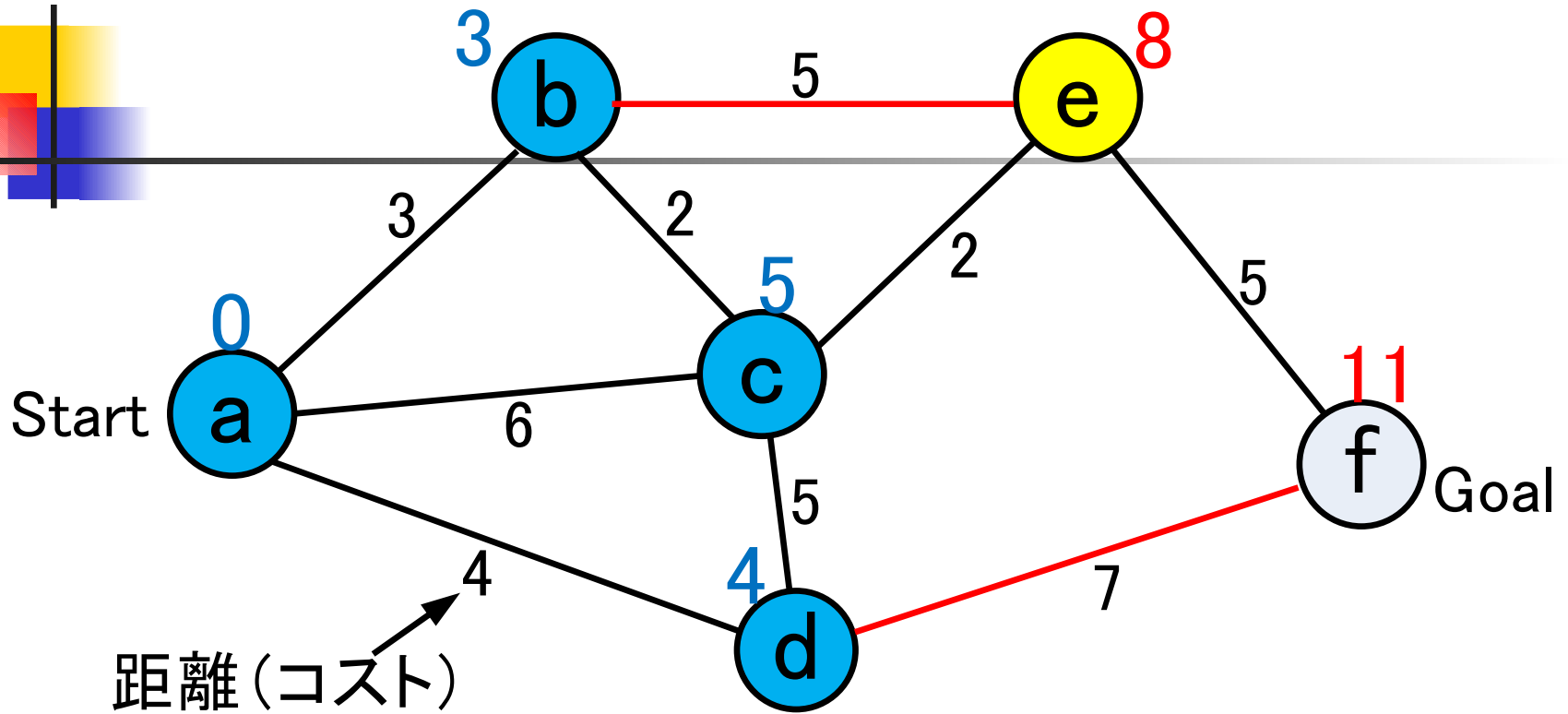


# ダイクストラ法 動作例 7/13



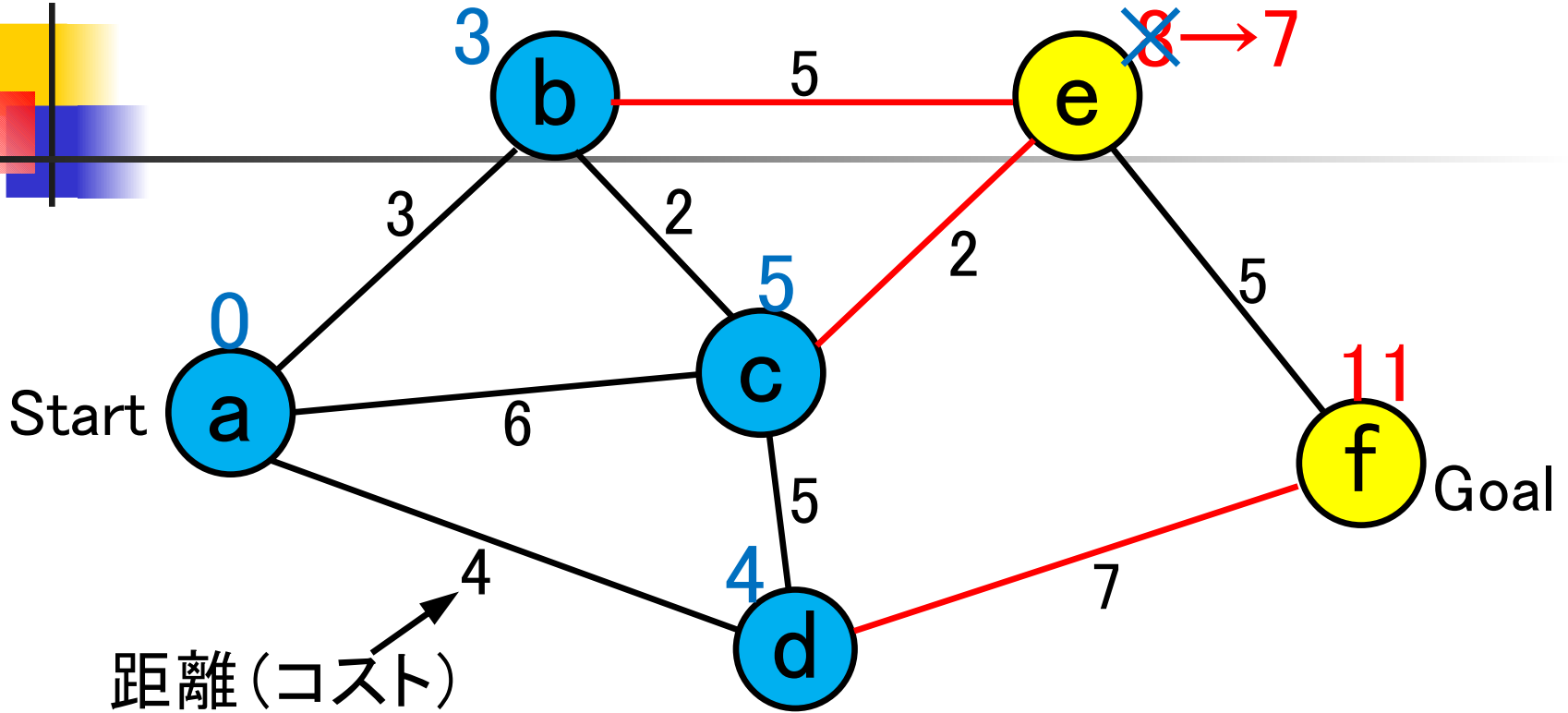
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク  
次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 8/13



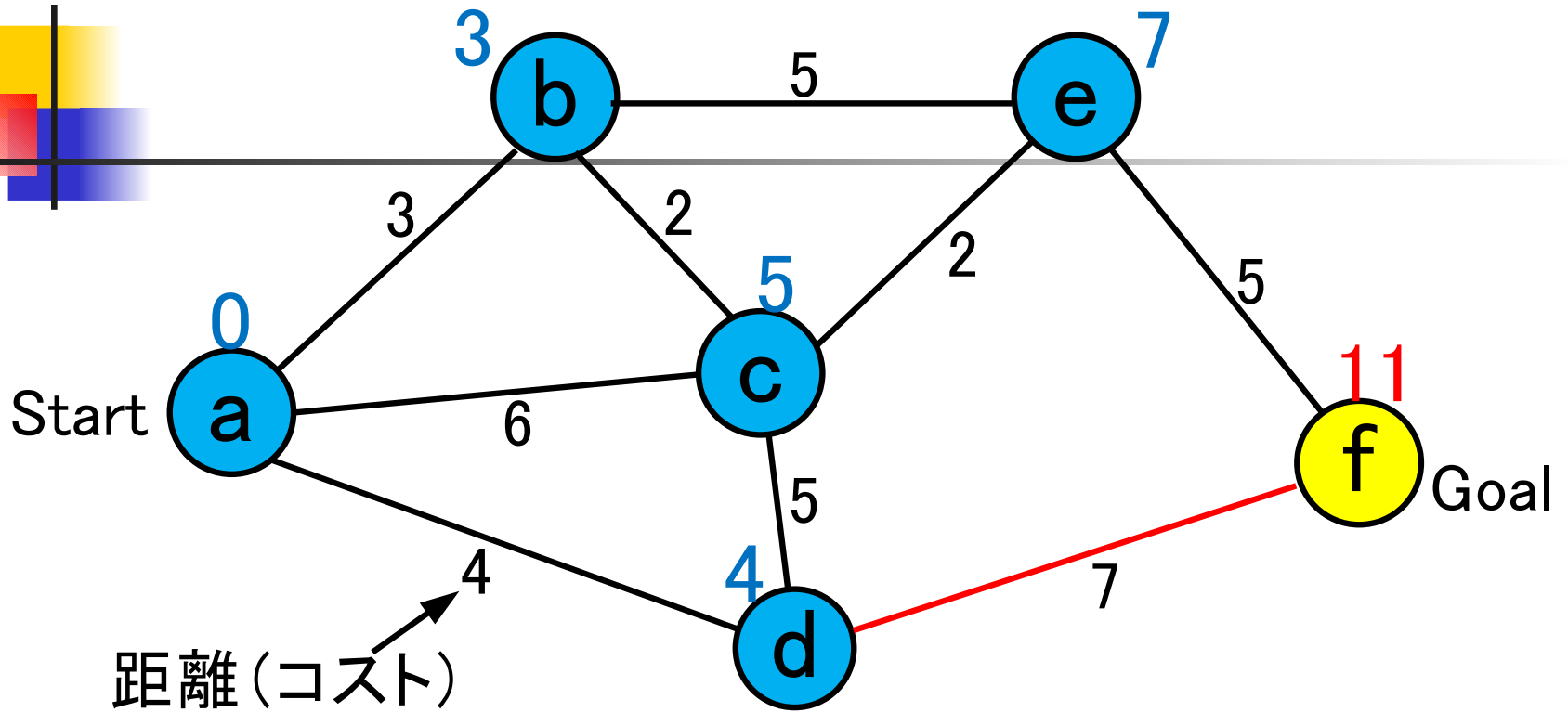
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク
- 次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 9/13



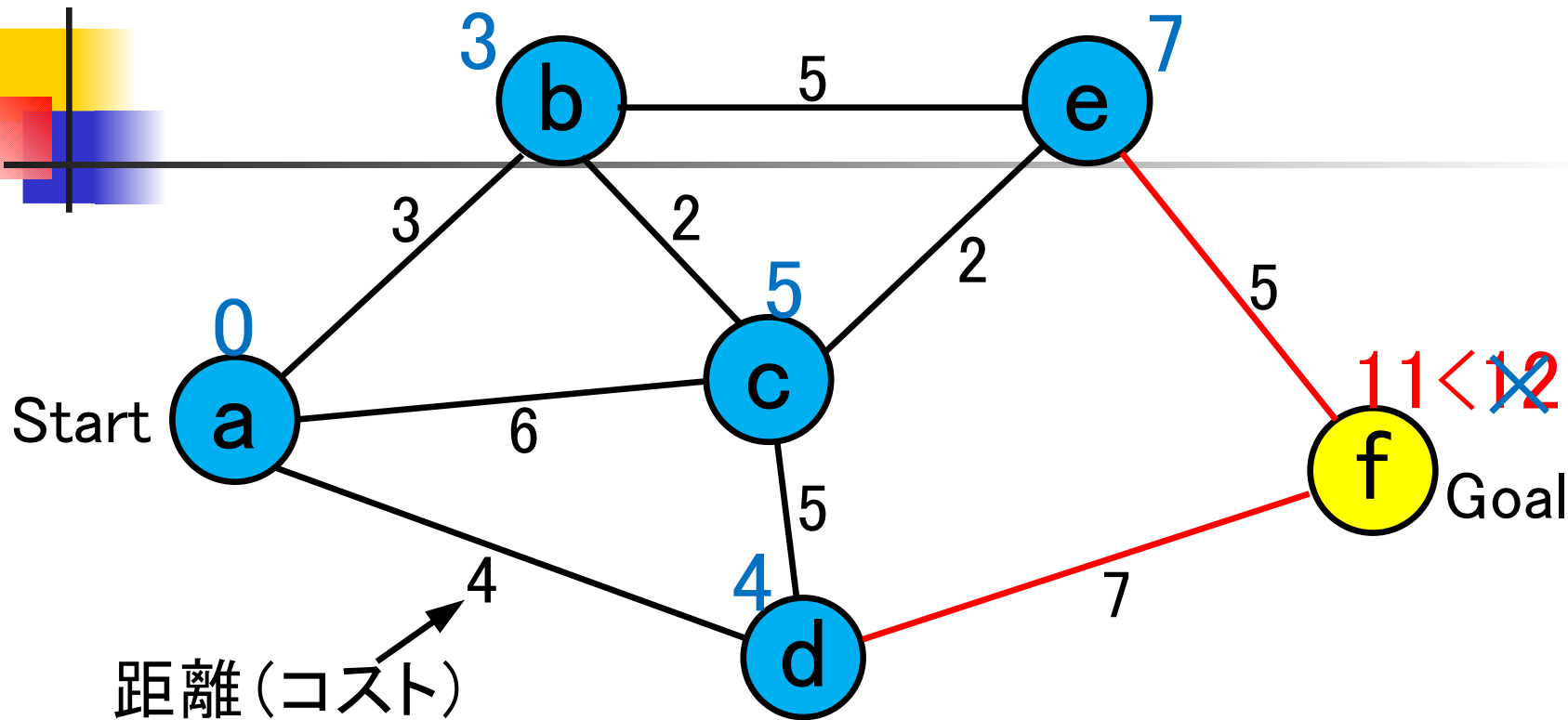
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク
- 次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 10/13



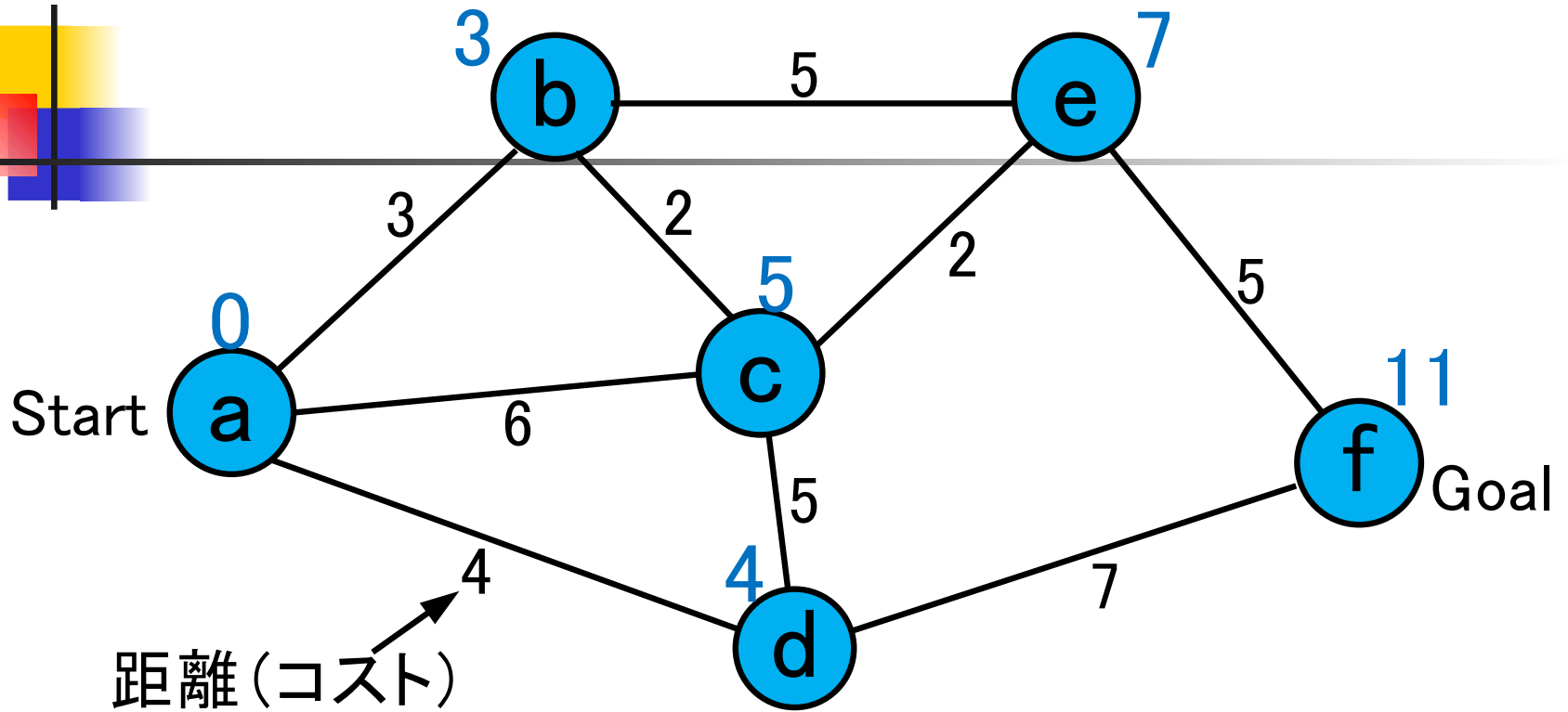
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク  
次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 11/13



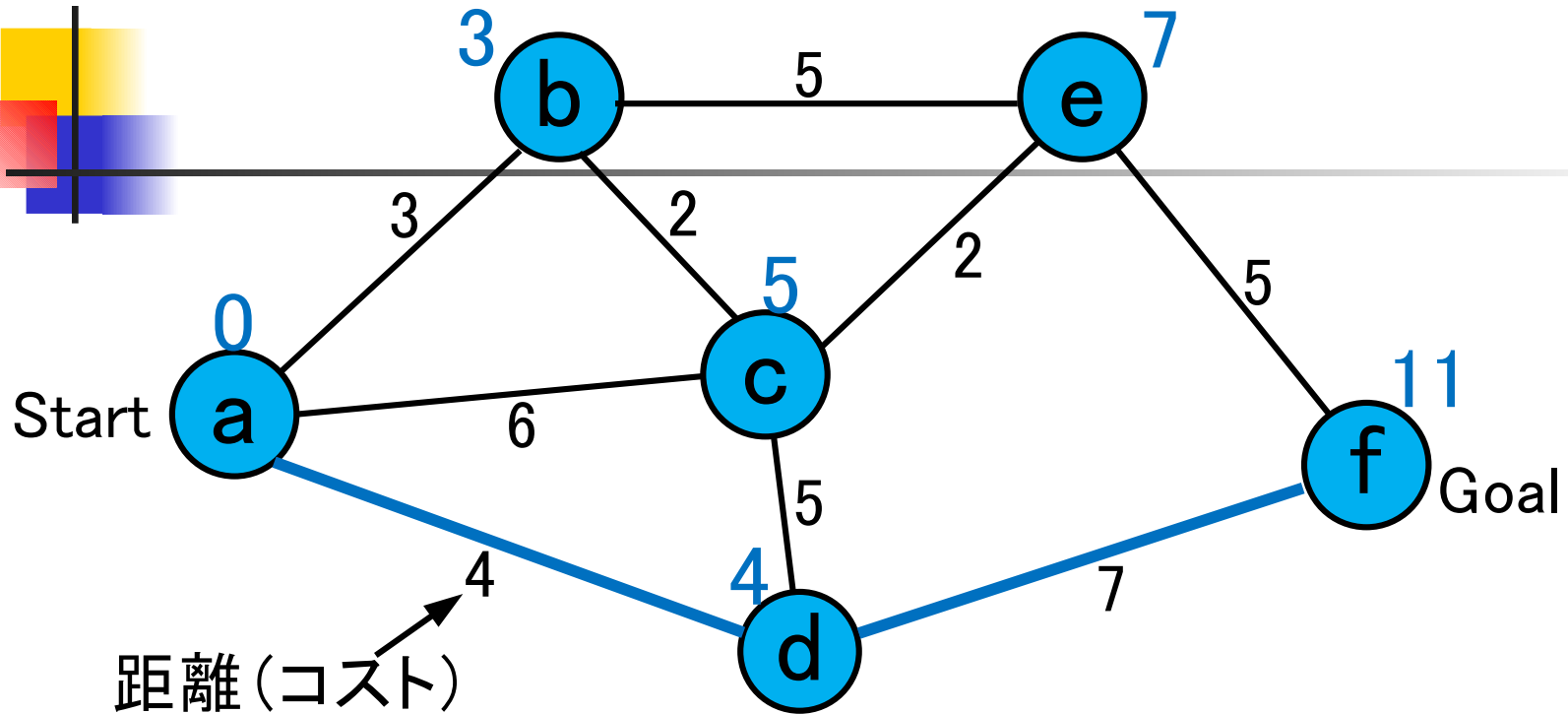
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク  
次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 12/13



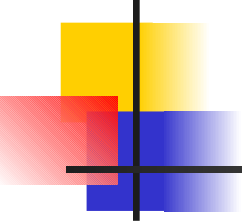
- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク
- 次期確定ノード決定に使用

# ダイクストラ法 動作例 13/13



- Startからの最短経路が確定していないノード
- Startからの最短経路を確定中のノード
- Startからの最短経路が確定したノード
- 7 Startからの最短距離候補 (未確定)
- 7 Startからの最短距離 (確定済)
- 確定済ノードからのアーク  
次期確定ノード決定に使用
- StartからGoalまでの最短経路

# ダイクストラ法 アルゴリズム

- 
1. 初期化: スタートノードの値(最小コスト候補)を0, 他のノードの値を無限大に設定
  2. 未確定ノードが無くなるまで以下のループを繰り返す.
    1. 確定中ノードのうち, 最小の値を持つノードを見つけ, 確定ノードとする.
    2. 確定ノードからのエッジに対して「確定ノードまでのコスト + エッジのコスト」を計算し, そのノードの現在値よりも小さければ更新.





# ダイクストラ法の特徴

---

- 最短経路の見つけ方
  - ゴールノードから「どこから来たのか」調べ, さかのぼる.
- マイナスのコストを持つエッジは扱えない.
- 特定のノードからの最短距離およびその経路が全てのノードに対して求まる.

# DPマッチング

## (例: 文字列の照合)

- 2つの文字列がどのくらい似ているかを調べる.
  - takeda は nakadaiとどのくらい似ているか
  - 置換, 脱落, 挿入に対応
- 音声認識にも使える
  - 音声を文字列に変換した後, 登録単語と比較
  - (現在主流の)HMM(Hidden Markov Model)に拡張可能
- DNAの比較にも使える
  - A(アデニン), G(グアニン), C(シトシン), T(チミン)の並び方の比較
  - ACTGAGCATTとCTGGACTACGの比較

# DPマッチング

## (例: 文字列の照合)

---

- 簡単に比較できる例
  - abcdef
  - abzdef
- Aに対して脱落, 挿入, 置換
  - A: abcdef
  - B: abdef
  - C: abccdef
  - D: abzdef

DPマッチング: 脱落, 挿入, 置換誤りを考慮して文字列照合可能

# DPマッチング(例:文字列の照合) 1/8

takeda と nakadai の照合

不一致コスト表

文字が一致 → 0  
文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
d	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

# DPマッチング (例: 文字列の照合) 2/8

■ takeda と nakadai



の値を求める

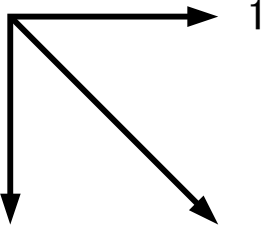
不一致コスト表

	r	a	k	a	c	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
c	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

1文字ずらしたけれど文字が不一致:  $1+3=4$ を加算

## 移動のペナルティ

横だけ1字ずらす



## 不一致のペナルティ


文字が一致 → 0

文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	7	11	15	19	23	27
a	7						
k	11						
e	15						
d	19						
a	23						

# DPマッチング (例: 文字列の照合) 3/8

takeda と nakadai

 の値を求める

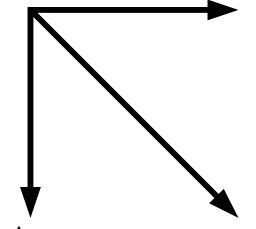
不一致コスト表

	r	a	k	a	c	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
c	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

移動のペナルティ

横だけ1字ずらす

1




縦だけ1字  
ずらす

同時に1文字  
移動

不一致のペナルティ

文字が一致 → 0

文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	7	11	15	19	23	27
a	7	3	7	8	12	13	17
k	11						
e	15						
d	19						
a	23						

# DPマッチング (例: 文字列の照合) 4/8

- takeda と nakadai

の値を求める

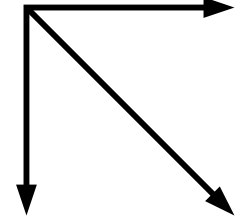
不一致コスト表

	r	a	k	a	c	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
c	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

## 移動のペナルティ

横だけ1字ずらす

1



0

同時に1文字移動

## 不一致のペナルティ

文字が一致 → 0

文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	7	11	15	19	23	27
a	7	3	7	8	12	13	17
k	11	7	3	7	11	15	16
e	15						
d	19						
a	23						

# DPマッチング (例: 文字列の照合) 5/8

- takeda と nakadai

の値を求める

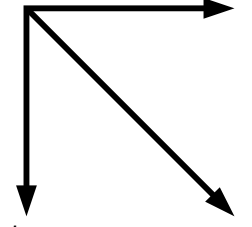
不一致コスト表

	r	a	k	a	c	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
c	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

## 移動のペナルティ

横だけ1字ずらす

1



0

同時に1文字移動

## 不一致のペナルティ

文字が一致 → 0

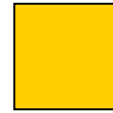
文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	7	11	15	19	23	27
a	7	3	7	8	12	13	17
k	11	7	3	7	11	15	16
e	15	11	7	6	10	14	18
d	19						
a	23						



# DPマッチング (例: 文字列の照合) 6/8

■ takeda と nakadai



の値を求める

不一致コスト表

	r	a	k	a	c	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
c	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

移動のペナルティ

横だけ1字ずらす

1

1

0

同時に1文字移動

縦だけ1字ずらす

不一致のペナルティ

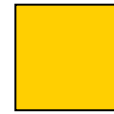
文字が一致 → 0

文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	7	11	15	19	23	27
a	7	3	7	8	12	13	17
k	11	7	3	7	11	15	16
e	15	11	7	6	10	14	18
d	19	15	11	10	6	10	14
a	23						

# DPマッチング (例: 文字列の照合) 7/8

takeda と nakadai



の値を求める

不一致コスト表

	r	a	k	a	c	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
c	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

移動のペナルティ

横だけ1字ずらす

1

1

0

同時に1文字移動

縦だけ1字ずらす

不一致のペナルティ

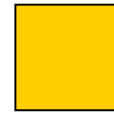
文字が一致 → 0

文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	7	11	15	19	23	27
a	7	3	7	8	12	13	17
k	11	7	3	7	11	15	16
e	15	11	7	6	10	14	18
d	19	15	11	10	6	10	14
a	23	16	15	11	10	6	10

# DPマッチング (例: 文字列の照合) 8/8

takeda と nakadai



の値を求める

不一致コスト表

	r	a	k	a	c	a	i
t	3	3	3	3	3	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3
k	3	3	0	3	3	3	3
e	3	3	3	3	3	3	3
c	3	3	3	3	0	3	3
a	3	0	3	0	3	0	3

移動のペナルティ

横だけ1字ずらす

1

1

0

同時に1文字

移動

不一致のペナルティ

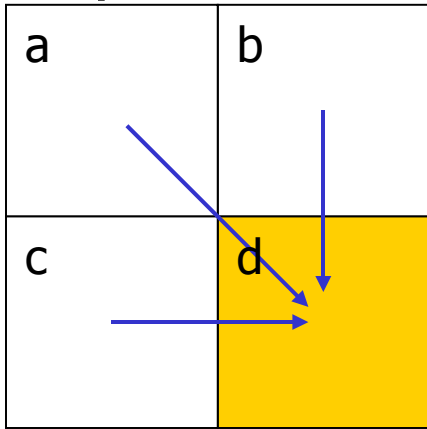
文字が一致 → 0

文字が不一致 → 3

	n	a	k	a	d	a	i
t	3	7	11	15	19	23	27
a	7	3	7	8	12	13	17
k	11	7	3	7	11	15	16
e	15	11	7	6	10	14	18
d	19	15	11	10	6	10	14
a	23	16	15	11	10	6	10



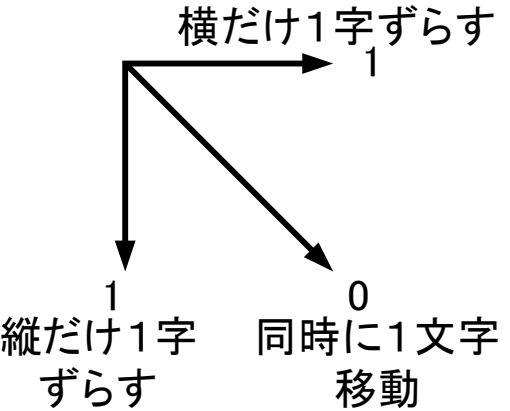
# アルゴリズム



**d** へのルートは3種類

- aまでの距離 + 斜め移動のペナルティ + 不一致ペナルティ
  - bまでの距離 + 下移動のペナルティ + 不一致ペナルティ
  - cまでの距離 + 右移動のペナルティ + 不一致ペナルティ
- の内の最短距離をdに書き込む

## 移動のペナルティ



## 不一致のペナルティ

- 文字が一致 → 0
- 文字が不一致 → 3



# DPマッチングの応用

---

- DPマッチングの探索空間を制限し、探索時間を削減する方法
  - ビームサーチ(最適解は保証されない)
  - A\*アルゴリズム(最適解は保証される)
- HMM(隠れマルコフモデル)とビタビアルゴリズム
  - 音声認識手法の主流

# A\*アルゴリズム

## 最短経路探索問題

---

- ダイクストラ法にすこし工夫を加えた方法
- 各ノードからゴールまでの推定距離を利用
  - $0 \leq \text{推定距離} \leq \text{最短距離}$  でなければならない
  - 推定距離=0なら推定していないと同じ→ダイクストラ法